令和8年熊本地震

防災科研の初動対応

令和8年熊本地震の発生直後から、現地支援、被害調査、情報共有まで――。防災科研が行った主な対応を、発災後の動きとともに紹介します。

ISUT Information Support Team

災害時情報集約支援チーム（ISUT）は、現地の災害対策本部に派遣され、情報支援を行う、内閣府（防災担当）と防災科研による協働チームです。

1 初動対応　発災直後から、迅速に体制を整え、情報支援の準備を開始しました。

2026年7月28日	16:27頃	熊本県熊本地方を震源とする地震発生（M7.1、最大震度7）
	16:46	防災科研内に災害対策本部を設置〈発災から19分〉
	17:26	現地に災害時情報集約支援チーム（ISUT）として職員の派遣を決定
	17:47	防災クロスビュー：bosaiXview を開設し情報提供を開始〈発災から1時間20分〉

2 現地での災害対応　関係機関と連携し、現地の災害対応活動を支援しました。

7月28日、熊本県庁にてISUT活動開始（熊本県庁政府現地対策本部・県災害対策本部）、八代市にて防災情報研究部門プロジェクトチーム、宇城市にて災害過程研究部門プロジェクトチームが災害対応活動・アクションリサーチを展開しました。



情報収集・整理


現地本部での状況説明・報告


データ共有・活用支援

3 被害・現地調査　現地での調査を実施し、被害状況の把握と分析を進めました。

8月1日～2日　地盤災害調査（熊本市、宇城市周辺）

8月2日～6日　熊本平野及び八代平野における液状化調査・微動調査

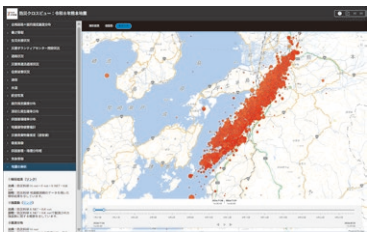
8月5日～9日　被害を受けた建物の調査（八代市、氷川町、宇城市）

調査の目的

- 地盤災害・液状化・建物被害の実態把握
- 今後の復旧・復興に向けた知見の提供
- 研究・技術開発へのフィードバック

4 災害情報の共有・発信　SOBO-WEBでの情報共有を支援し、公開情報は防災クロスビューから発信しました。

2024年度より内閣府による実運用が開始された内閣府新総合防災情報システム（SOBO-WEB）での情報共有を支援し、公開情報は防災クロスビュー：bosaiXviewより発信しました。


震源分布（防災科研）


通れるマップ（国交省）

最新の情報は、防災クロスビューをご覧ください。https://xview.bosai.go.jp/

防災クロスビュー　検索

防災科研ニュース
2026　No.234
2026年9月30日発行

●ご意見･ご感想をお寄せください　e-mail:k-news@bosai.go.jp

■発行　国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006　茨城県つくば市天王台3-1　企画部 広報課
防災科研ニュース係　TEL.029-863-7784　FAX.029-863-7699
●防災科研ニュースはウェブサイトでもご覧いただけます（https://www.bosai.go.jp/）

ISSN 2758-1195